

## 株主メモ

証券コード 4951  
事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月  
剰余金の配当 剰余金の配当は毎年3月31日現在の株主に、また中間配当を支払う場合は毎年9月30日現在の株主にそれぞれお支払いいたします。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

郵便物送付先 〒1135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号  
お問合せ先 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)

同取次所 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店  
みずほインベスタース証券株式会社 本店および全国各支店

単元株式数 100株  
公告方法 日本経済新聞

決算公告ホームページのご案内  
当社の決算公告は、日本経済新聞による決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書を当社のホームページ (<http://www.st-c.co.jp/ir/>) に掲載しておりますので、こちらをご覧ください。

## 当社IR情報について

当社ホームページでは、機関投資家や個人投資家の皆様に、当社の経営内容、将来展望、経営理念等をより深くご理解いただくためにIRのページを設けております。  
ご希望の方にはIRメールの配信サービスも行っております。

★当社のIRに関する情報はこちらをご覧ください。▶▶▶ 当社ホームページ「IR情報」<http://www.st-c.co.jp/ir/>


## ■社名の由来■

会社の基本方針「社会に対する奉仕(SERVICE)と信頼(TRUST)を信条とし、製品については最高(SUPER TOP)を理念とする事」よりとったものであります。

 **イステー化学株式会社**

〒161-8540 東京都新宿区下落合1-4-10  
TEL. 03-5906-0731

 **FSC 100** この報告書は、古紙パルプ配合率100%再生紙を使用

 **PRINTED WITH SOY INK** この報告書は、環境に優しい植物性大豆油インキを使用しております。



 空気をかえよう  
**イステー化学**



エステー化学は、“世にないことをやる会社”として、「グローバル・ニッチ・No.1」の戦略を推し進め、“変わり続け、勝ち続ける”ことをテーマに世の中の“空気をかえる”存在価値の高い企業を目指しています。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当社は、創業60周年という大きな節目を契機に、社長交代、そして社名変更という“最大の変化”を起こしました。これは、今後さらなる成長と進化を遂げるために必要な変化と捉えております。

この4月1日には、四代続いた創業家以外からの初の代表執行役社長に、小林寛三が就任しました。これからの経営者に必要な“グローバル”、“IT”、“ファイナンス”の感覚に優れた合理的かつ論理的思考を持ち合わせている人

物です。さらに、8月には会社名を「エステー株式会社」に変更し、すべてを一新してスタートしていきます。

株主の皆様には、当社の新たな経営方針をご理解いただき、今後とも倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2007年6月

取締役会会長兼執行役

鈴木 喬

株主の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃のあたたかいご理解とご支援に厚く御礼申し上げます。

当社の近況ならびに今後の方向につきましてご報告いたします。

#### ■ 当社の近況

この1年を振り返りますと、第一に、主力のエアケア市場において、外資系大手トイレタリーメーカーの参入により、競争が激化している中、主力ブランドである『消臭力』や『エアウォッシュ』、戦略商品である『消臭プラグ』の広告宣伝と店頭販売を連動させた販売促進活動を積極的に展開することで、売上の増加を図ってまいりました。

第二に、サーモケア（カイロ）部門においては前期シーズンの厳冬から一転して記録的な暖冬となった影響で市場の縮小があり、大幅な減収を強いられました。

第三に、原油価格の高騰・高止まりの影響によって、資材価格上昇によるコストアップの波が押し寄せてきておりますが、購買・製造部門のコスト削減活動が奏功し、吸収することができました。

第四に、当社の重点課題であるグローバル戦略の一環として、韓国において、愛敬（エギョン）産業株式会社および韓国伊藤忠商事株式会社との家庭用品の販売とマーケティング業務を行う合併会社を設立しました。

第五に、株主の皆様への一層の利益還元と機動的な資本政策を実現するため、自己株式の取得を約311万株（約49億円）実行し、うち約84万株（約11億円）を消却いたしました。

#### ■ 今後の方向

私は、2007年4月1日から、代表執行役社長として、舵取りの重責を担うことになりました。激変している世の中で当社が勝ち抜いていくためには、現場力を強めた『チームワーク重視』の会社へ、そして部分最適から全体最適を重視した会社へと、変革していかなければならないと考

えております。そのために、①「効率化経営」、②「成長経営」、③「意識改革の推進」の3つの方針を掲げ、変革を進めてまいります。また、当社は2007年8月1日に「エステー化学株式会社」から「エステー株式会社」へと会社名を変更いたします。創業60周年を機に新体制へ移行し、さらに新会社名の下で『“化学”にとらわれない』柔軟な発想とより広い生活領域における“癒しと感動”を提供し続け、激化する競争に打ち勝ってまいります。

また、当社の利益配分の基本方針は、引き続き、成長力・収益力の向上と企業体質強化の為の積極的な投資と並び、株主配当の安定を目指し、今後は業績に連動した配当政策を進めてまいります。今期の配当金につきまして、業績予想、ならびに利益配分に関する基本方針を勘案し、前期同様、年22円の配当を計画しております。

株主・投資家の皆様には、一層のご愛顧、ご支援をよろしくお願いいたします。

2007年6月



取締役兼代表執行役社長

小林 寛三



## 会社名が変わります～エステー化学から、エステーへ～

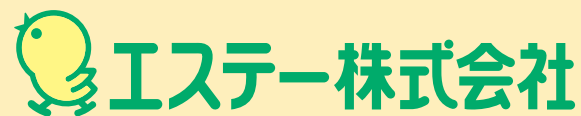
当社は、1946年に防虫剤などの製造販売で創業し、1970年代以降、ネオパラエース（防虫剤）、シャルダンシリーズ（芳香剤）、ドライペット（除湿剤）などのヒット商品を開発して、生活・家庭用品において新しいカテゴリーを創造してまいりました。

さらに1990年代後半から今日まで「世にないことをやる会社」として、ユニークな商品開発やメッセージを発信し、創造的・革新的な取り組みを続けております。

こうした中、創業60周年を迎え、さらに新体制への移行を契機に、これまでの経営理念を継承しつつ『“化学”にとらわれない』柔軟な発想をし、常に新しいことにチャレンジしていく姿勢を示すため、この8月1日より、これ

までの「エステー化学株式会社」から、「エステー株式会社」に会社名を変更いたします。

今後、これを機に、当社の強みであるエアケア（消臭芳香剤）をコアビジネスとしてさらに強化し、また既存カテゴリーにとらわれることなく、さらに広い生活領域全般で価値ある商品を“癒しと感動”をもって提供することで、永続的に「利益ある成長」を目指してまいります。



新会社名ロゴマーク

## グローバル展開の強化～「世にない商品」を世界へ～



アメリカで販売中の『ドライペットスキット』と『脱臭炭』



韓国で販売を開始した消臭芳香剤・防虫剤・除湿剤

エステー化学は、グローバル戦略を進める中、昨年春に脱臭剤と除湿剤で米国市場に本格進出いたしました。

2006年3月からアメリカ小売店最大手ウォルマート・ストアーズの約3,300店舗で、除湿剤Closet Dehumidifier（『ドライペットスキット』）および脱臭剤Closet Deodorizer（『脱臭炭』）を販売し、売上も好調に推移しております。今後は製品ラインナップの拡充を図る予定です。

また、アジアにおきましては、急速に拡大している韓国市場への本格進出を行います。韓国国内で家庭用品業界第2位の愛敬（エギョン）産業株式会社と、韓国伊藤忠商事株式会社および当社の3社間で、韓国における家庭用品の販売に関する業務提携を行い、本年4月より販売を開始いたしました。

独自性の強い商品とマーケティング力を持つエステー化学と韓国内において強力な販売網とマーケティング力を持つ愛敬産業の相乗効果により、韓国内における家庭用品市場の拡大を図ってまいります。

## 財務ハイライト

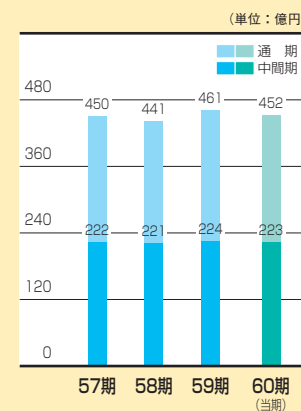
### 連結

	第57期	第58期	第59期	第60期 (当期)
売上高 (百万円)	45,081	44,109	46,134	45,227
経常利益 (百万円)	2,750	3,260	2,640	3,070
当期純利益 (百万円)	1,451	1,823	987	1,746
純資産 (百万円)	26,692	27,449	27,860	24,648
総資産 (百万円)	36,268	36,959	37,905	33,829
1株当たり当期純利益金額 (円)	48.87	63.43	34.35	65.10

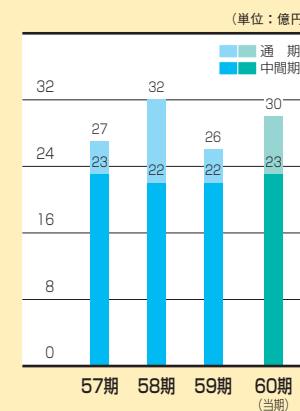
### 単体

	第57期	第58期	第59期	第60期 (当期)
売上高 (百万円)	43,250	42,396	44,331	43,201
経常利益 (百万円)	2,121	2,586	1,822	2,196
当期純利益 (百万円)	1,170	1,520	687	1,310
純資産 (百万円)	25,834	26,284	26,334	22,112
総資産 (百万円)	34,267	34,808	35,372	30,802
1株当たり当期純利益金額 (円)	39.31	52.91	23.91	48.85

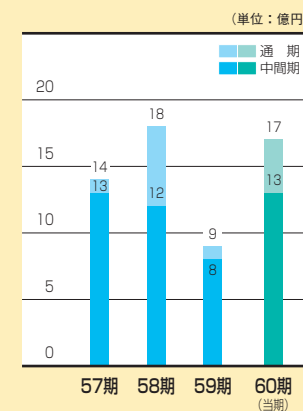
### 〈連結〉 売上高



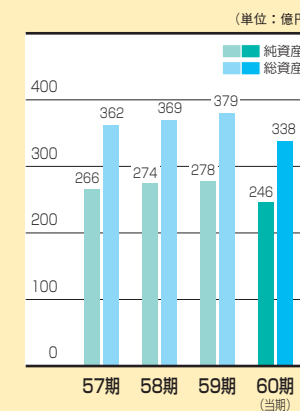
### 〈連結〉 経常利益



### 〈連結〉 当期純利益



### 〈連結〉 純資産・総資産



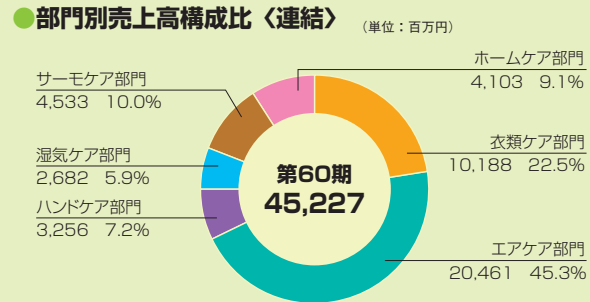
営業の経過および成果

当期の連結業績につきましては、エアケア（消臭芳香剤）、湿気ケア（除湿剤）、ホームケア（その他）の各部門における売上は順調に推移したものの、天候不順の影響から衣類ケア（防虫剤）部門の売上が微減となった他、暖冬の影響により、サーモケア（カイロ）部門の売上が大幅に落ち込んだことにより減収となりました。

利益面につきましては、資材価格上昇圧力を購買・製造部門のコスト削減活動により吸収したこと、また広告宣伝費を中心としたプロモーション投資の効率化に努めたことなどにより増益となりました。

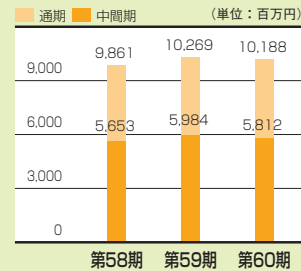
これらの結果、売上高は452億27百万円（前期比2.0%減）となり、営業利益は33億42百万円（前期比6.7%増）、経常利益は30億70百万円（前期比16.3%増）となりました。

当期純利益は17億46百万円（前期比76.9%増）となりました。前期に比べ大幅な増加となったのは、前期において固定資産の減損会計基準適用に伴う特別損失7億2百万円を計上したこと等によるものです。



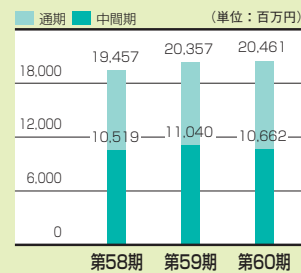
●衣類ケア（防虫剤）部門〈連結〉

衣類ケア（防虫剤）部門の売上高は、101億88百万円（前期比0.8%減）となりました。当部門につきましては、昨年春先の天候不順の影響などで、売上は減少いたしました。主カブランド『ムシューダ』の1年用を中心に市場シェアは前期比微増し、トップシェアを確保いたしました。



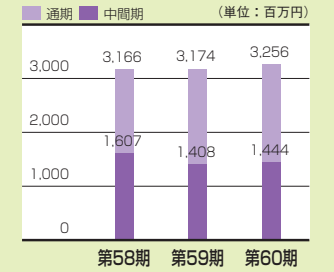
●エアケア（消臭芳香剤）部門〈連結〉

エアケア（消臭芳香剤）部門につきましては、主カブランド『消臭力』の売上高が引続き大幅な伸張となったほか、『エアウォッシュ』ブランドの新製品「エアウォッシュ収納空間用」「エアウォッシュミストプラス」が好調に推移し、売上に寄与しました。他方、その他の既存ブランドの縮小が進行し、全体では204億61百万円（前期比0.5%増）と微増にとどまりました。



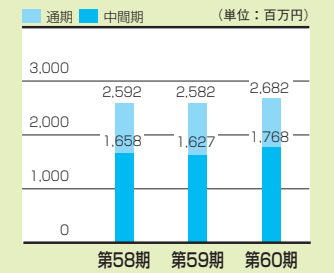
●ハンドケア（手袋）部門〈連結〉

ハンドケア（手袋）部門の売上高は、ニトリルゴム手袋や薄手ビニール手袋が寄与し、32億56百万円（前期比2.6%増）と増収となりました。



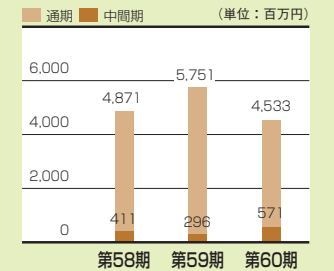
●湿気ケア（除湿剤）部門〈連結〉

湿気ケア（除湿剤）部門につきましては、シートタイプの除湿剤に加え、タンクタイプの除湿剤「ドライペットコンパクト」が好調に推移し、売上高は26億82百万円（前期比3.9%増）と増収となりました。



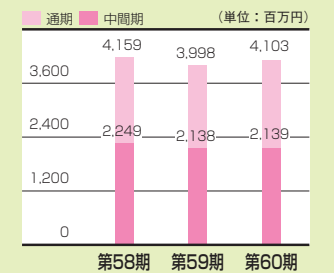
●サーモケア（カイロ）部門〈連結〉

サーモケア（カイロ）部門の売上高は、前期シーズンの厳冬から一転して記録的な暖冬となった影響で、45億33百万円（前期比21.2%減）と大幅に減少いたしました。



●ホームケア（その他）部門〈連結〉

ホームケア（その他）部門の売上高は41億3百万円（前期比2.6%増）となりました。当部門につきましては、「ウルトラパワーズ洗濯槽クリーナー」をはじめ、お米の虫除け「米唐番」などが好調を維持したほか、安心な洗浄剤として定着してきた重曹をクリーナーに使用した新製品「パワーズ重曹ブラッシュ」も順調に推移いたしました。



●連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

	当期末	前期末		当期末	前期末
	(平成19年3月31日)	(平成18年3月31日)		(平成19年3月31日)	(平成18年3月31日)
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
流動資産	20,289	23,605	流動負債	7,494	7,973
現金及び預金	8,135	8,625	支払手形及び買掛金	3,960	4,773
受取手形及び売掛金	4,450	4,552	未払金	1,931	1,957
有価証券	2,229	4,778	その他の	1,602	1,241
たな卸資産	4,646	4,823	固定負債	1,686	1,591
繰延税金資産	385	370	退職給付引当金	1,207	1,115
その他	455	473	役員退職慰労引当金	97	95
貸倒引当金	△ 14	△ 18	再評価に係る繰延税金負債	380	380
固定資産	13,540	14,299	その他	1	—
有形固定資産	7,370	7,582	負債合計	9,180	9,564
建物及び構築物	2,468	2,597	少数株主持分		
土地	3,412	3,267	少数株主持分	—	480
その他	1,489	1,717	資本の部		
無形固定資産	470	414	資本金	—	7,065
投資その他の資産	5,699	6,302	資本剰余金	—	7,067
投資有価証券	3,989	4,761	利益剰余金	—	15,174
繰延税金資産	205	47	土地再評価差額金	—	△ 548
その他	1,524	1,517	その他有価証券評価差額金	—	872
貸倒引当金	△ 19	△ 24	為替換算調整勘定	—	△ 296
			自己株式	—	△ 1,474
資産合計	33,829	37,905	資本合計	—	27,860
			負債、少数株主持分及び資本合計	—	37,905
			純資産の部		
			株主資本	24,100	—
			資本金	7,065	—
			資本剰余金	7,067	—
			利益剰余金	15,120	—
			自己株式	△ 5,152	—
			評価・換算差額等	19	—
			その他有価証券評価差額金	811	—
			土地再評価差額金	△ 548	—
			為替換算調整勘定	△ 242	—
			新株予約権	7	—
			少数株主持分	520	—
			純資産合計	24,648	—
			負債・純資産合計	33,829	—

●連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当期	前期
	(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)	(自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)
売上高	45,227	46,134
売上原価	25,242	26,109
販売費及び一般管理費	16,641	16,891
営業利益	3,342	3,132
営業外収益	681	549
営業外費用	952	1,042
経常利益	3,070	2,640
特別利益	9	49
特別損失	41	777
税金等調整前当期純利益	3,039	1,913
法人税、住民税及び事業税	1,266	1,083
法人税等調整額	△ 32	△ 134
少数株主利益又は損失(△)	58	△ 23
当期純利益	1,746	987

**POINT 1** 売上高は、エアケア、湿気ケア、ホームケアの各部門は順調に推移したものの、暖冬の影響で、サーモケア部門の売上が大幅に落ち込んだことにより減収となりました。一方、利益面では、資材価格高騰の影響をコスト削減活動で吸収したこと、プロモーション投資の効率化に努めたことなどにより営業利益は前期比6.7%増、経常利益は同16.3%増となりました。

**POINT 2** 当期純利益は、17億46百万円（前期比76.9%増）となりましたが、これは、前期において固定資産の減損損失を計上したことによるものです。

●連結株主資本等変動計算書

（単位：百万円）

	株主資本					評価・換算差額等				新株予約権	少数株主持分	純資産合計	
	当期末 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定				評価・換算 差額等合計
平成18年3月31日残高	7,065	7,067	15,174	△ 1,474	27,833	872	△ 548	△ 296	27	—	480	28,340	
当期中の変動額	利益処分による利益配当			△ 317	△ 317							△ 317	
	剰余金の配当			△ 290	△ 290							△ 290	
	利益処分による役員賞与			△ 0	△ 0							△ 0	
	当期純利益			1,746		1,746						1,746	
	自己株式の取得				△ 4,942	△ 4,942							△ 4,942
	自己株式の処分			△ 29	100	71							71
自己株式の消却			△ 1,163	1,163	—							—	
株主資本以外の項目の 当期中の変動額(純額)						△ 61	—	53	△ 7	7	40	40	
当期中の変動額合計	—	—	△ 53	△ 3,678	△ 3,732	△ 61	—	53	△ 7	7	40	△ 3,691	
平成19年3月31日残高	7,065	7,067	15,120	△ 5,152	24,100	811	△ 548	△ 242	19	7	520	24,648	

●連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当期	前期
	(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)	(自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー	2,636	1,954
投資活動による キャッシュ・フロー	2,220	△ 2,230
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 5,561	△ 571
現金及び現金同等物に係る 換算差額	13	16
現金及び現金同等物の 増減額	△ 690	△ 830
現金及び現金同等物 期首残高	8,802	9,632
現金及び現金同等物 期末残高	8,111	8,802

●連結対象会社

連結子会社（国内4社/海外2社） 持分法適用会社（国内1社/海外3社）  
 エステートレーディング株式会社 スリーエム・エステー販売株式会社  
 エステーオート株式会社 シャルダン（マレーシア）  
 エステー・マイコール株式会社 シャルダン（フィリピン）  
 エステービジネスサポート株式会社 愛敬S.T.（韓国）  
 ファミリーグループ（タイ） ※シャルダン（マレーシア）は、清算  
 ファミリーグループ（台湾） 手続中



●単体貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

	当期末	前期末		当期末	前期末
	(平成19年3月31日)	(平成18年3月31日)		(平成19年3月31日)	(平成18年3月31日)
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
流動資産	17,156	20,920	流動負債	7,050	7,488
現金及び預金	6,220	7,182	支払手形	30	54
受取手形及び売掛金	3,906	4,184	買掛金	3,927	4,626
有価証券	2,182	4,682	未払金	1,928	1,924
たな卸資産	4,049	4,088	その他	1,164	883
繰延税金資産	314	310	固定負債	1,639	1,549
その他	490	483	退職給付引当金	1,161	1,072
貸倒引当金	△ 6	△ 11	役員退職慰労引当金	97	95
固定資産	13,646	14,451	再評価に係る繰延税金負債	380	380
有形固定資産	6,943	7,152	負債合計	8,690	9,037
建物及び構築物	2,337	2,462	資本の部		
土地	3,191	3,054	資本金	—	7,065
その他	1,415	1,634	資本剰余金	—	7,067
無形固定資産	464	408	利益剰余金	—	13,351
投資その他の資産	6,238	6,890	土地再評価差額金	—	△ 548
投資有価証券	3,423	4,567	その他有価証券評価差額金	—	872
繰延税金資産	193	33	自己株式	—	△ 1,474
その他	2,641	2,313	資本合計	—	26,334
貸倒引当金	△ 19	△ 24	負債及び資本合計	—	35,372
資産合計	30,802	35,372	純資産の部		
			株主資本	21,842	—
			資本金	7,065	—
			資本剰余金	7,067	—
			利益剰余金	12,861	—
			自己株式	△ 5,152	—
			評価・換算差額等	262	—
			その他有価証券評価差額金	811	—
			土地再評価差額金	△ 548	—
			新株予約権	7	—
			純資産合計	22,112	—
			負債・純資産合計	30,802	—

●単体損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当期	前期
	(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)	(自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)
売上高	43,201	44,331
売上原価	25,232	26,230
販売費及び一般管理費	15,621	15,995
営業利益	2,347	2,105
営業外収益	735	671
営業外費用	886	954
経常利益	2,196	1,822
特別利益	9	52
特別損失	50	623
税引前当期純利益	2,155	1,252
法人税、住民税及び事業税	868	716
法人税等調整額	△ 24	△ 151
当期純利益	1,310	687
前期繰越利益	—	2,182
自己株式処分差損	—	36
土地再評価差額金取崩額	—	△ 6
中間配当額	—	316
当期末処分利益	—	2,510

●連結貸借対照表・単体貸借対照表

平成18年5月1日から施行された会社法により、「資本の部」が廃止され、「純資産の部」が新設されました。  
これは、貸借対照表上、資産性をもつものを「資産の部」、負債性をもつものを「負債の部」に記載し、それらに該当しないものを資産と負債との差額として「純資産の部」に記載するものです。  
これにより、会社の支払い能力などの財政状態を、より適切に表示することが可能となりました。

POINT

当期は、株主価値向上と資産のスリム化を図る為、自己株式の取得を311万64百株（取得価額49億39百万円）実施いたしました（単元未満株式取得を除く）。また、自己株式の消却を84万68百株（消却額11億63百万円）実施いたしました。  
これにより当期末資産合計は、前期末に比べ45億69百万円減の308億2百万円となりました。

●単体株主資本等変動計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当期 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)	株主資本				評価・換算差額等			新株 予約権	純資産 合計	
		資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	土地 再評価 差額金			評価・換算 差額等合計
平成18年3月31日残高		7,065	7,067	13,351	△ 1,474	26,010	872	△ 548	323	—	26,334
当期中の 変動額	利益処分による利益配当			△ 317		△ 317					△ 317
	剰余金の配当			△ 290		△ 290					△ 290
	当期純利益			1,310		1,310					1,310
	自己株式の取得				△ 4,942	△ 4,942					△ 4,942
	自己株式の処分			△ 29	100	71					71
	自己株式の消却			△ 1,163	1,163	—					—
	株主資本以外の項目の 当期中の変動額（純額）						△ 61	—	△ 61	7	△ 53
当期中の変動額合計		—	—	△ 489	△ 3,678	△ 4,168	△ 61	—	△ 61	7	△ 4,221
平成19年3月31日残高		7,065	7,067	12,861	△ 5,152	21,842	811	△ 548	262	7	22,112

# トピックス

## 新製品のご紹介

『エアウォッシュ』ブランドは、2005年春に発売のミストタイプ「エアウォッシュ」を皮切りに、同年夏に「置くタイプのエアウォッシュ」、06年春に「置くタイプエアウォッシュ トイレケア」を相次ぎ発売、“空気を洗う”という斬新なコンセプトが支持され、これまで累計で2,300万個のセールスを記録しています。

### ●エアウォッシュ ミストプラス

通常は、置き型タイプの消臭芳香剤として“においセンサー”でしっかりと持続消臭します。ニオイが気になる時や急な来客などの際は、本体天面の中央をワンブッシュすることで、消臭ミストが広がり、香りの強さが通常の2.7倍に。消臭効果をアップさせて瞬間消臭することができます。使用期間は、1日3回ミストした場合の目安で約1.5～2ヵ月です（季節や状況によって異なります）。



### ●エアウォッシュ 収納空間用

クローゼットや洋服ダンスなどのハンガーパイプに吊るし、収納空間やその中の衣類についたニオイを消臭してさわやかさを保つ消臭芳香剤です。消臭成分の“においセンサーゼリー”には、カビの原因となりやすい水分を含まないオイルゲルを採用し、長期保存する場合でも収納空間や衣類に安心して使うことができます。およそ2,400ℓ（180×60×220cm）のクローゼットなどに対応する広がりやすい薬剤成分です。防虫剤と併用して使用することも可能です。



## テレビCMのご紹介

エスティー化学のテレビCMは、おかげさまで大好評を博しております。2006年、CM好感度企業ランキングで日本のトップ38位に位置づけられるなど\*1、話題には事欠きませんでした。中でも「殿様」が『消臭プラグ』を訴求するCMは消費者の皆様にも、さらには広告業界でも大注目を浴びました。時代劇でありながら、電気式の『消臭プラグ』を説明するという奇想天外で平和なこのCMは、世界3大広告祭のひとつ「ニューヨークフェスティバル」\*2で見事入賞。もちろん『消臭プラグ』の売上も拡大しました。2007年も、売上につながる話題性のある広告活動を展開してまいります。



5月下旬より放送している消臭プラグCM「殿のにおい生活」篇

\*1 <平成18年度CM好感度白書 日本のベストアドバイザー2006（主催／CM総合研究所）>における「CM-Branding評価トップ企業50社」ランキング  
\*2 国連が共催する世界最大規模の国際コンテスト。1957年創設。「TV & CINEMA」部門には日本から30作品が入賞。

## 2万人の鼓動 TOURSミュージカル「赤毛のアン」

エスティー化学では、一人でも多くの人々にミュージカルの楽しさや素晴らしさを伝えていきたいという思いから、企業活動の一環として1998年からオリジナルミュージカルを主催し今年で10年目となります。社内に「ミュージカル実行委員会」を設置し、オーディションをはじめ、全国公演を通して、ミュージカルの制作・実施について全社的にバックアップ活動を行っております。エスティー化学オリジナルミュージカルの特長は下記4点に集約されます。

①一人でも多くの方がミュージカル文化に接することができるように日本全国で公演すること②券売ではなく“観覧チケットプレゼントキャンペーン”による「招待」で公演すること③オーディションで選ばれた市民が、プロの役者と地元の舞台に立つ「地域密着・市民参加型」④名だたる制作スタッフが想いを込めてつくる本格的な舞台であること

毎年、全国7都市を縦断して行うオーディションは、ミュージカル俳優を目指す若者の登竜門的な存在となっており、2007年のオーディション受験者は1,016名に上りました。

今年はキャストも一新。主人公のアンとして歌手の島谷ひとみさん、アンの養母マリラ役には元宝塚スターの安奈淳さんが出演されます。

ミュージカルに関わるスタッフ、キャスト、そしてステージの観客を合わせ約2万人が、同じ熱い想い、舞台の楽しさを共有し、“鼓動”を響き渡らせたいという願いを込め“2万人の鼓動 TOURS”と銘打ちお届けするステージは、8月に全国8都市11公演を予定しております。



4月12日に行われました制作発表の様様。左からギルバート役良知真次さん、主人公アン役島谷ひとみさん、会長鈴木 喬、ダイアナ役河野由佳さん。

公演日	会場
8月18日(土)	札幌市教育文化会館
8月20日(月)	宮城県民会館
8月21日(火)	大宮ソニックシティ
8月22日(水)	メルパルク東京
8月23日(木)	メルパルク東京 (2回公演)
8月25日(土)	名古屋市民会館
8月26日(日)	福岡市民会館
8月27日(月)	広島厚生年金会館
8月28日(火)	メルパルク大阪 (2回公演)

全国公演スケジュール

## 100組200名の株主の皆様を「赤毛のアン」へご招待

株主優待品に同封いたしましたアンケートハガキにお答えいただいた方の中から抽選で100組200名の株主の皆様へ、2007年“2万人の鼓動 TOURSミュージカル「赤毛のアン」”の公演観覧ペアチケットをプレゼントいたします。

## 株式の状況

(平成19年3月31日現在)

### ●株式の総数

(ア) 発行可能株式の総数	96,817,000株
(イ) 発行済株式の総数	29,500,000株
(ウ) 1単元の株式数	100株

### ●株主数

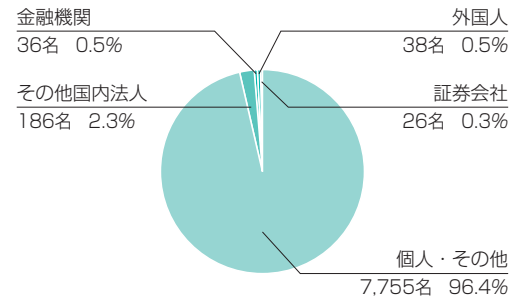
8,041名

### ●大株主

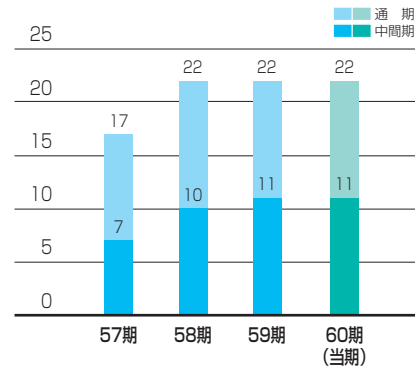
氏名又は名称	持株数	持株比率
株式会社 シャルダン	4,674 千株	15.8 %
株式会社 T・ZONEキャピタル	3,947	13.4
日本生命保険相互会社	1,671	5.7
みずほ信託退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託	884	3.0
鈴木 喬	816	2.8
有限会社 鈴木ファミリー	780	2.6
株式会社 三菱東京UFJ銀行	681	2.3
鈴木 誠一	582	2.0
鈴木 明雄	485	1.6
有限会社 キャレーヌ	433	1.5

(注) 1. 当社は自己株式3,707千株(12.6%)を有しております。  
2. みずほ信託退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託を名義人とする884千株は、株式会社みずほ銀行が保有する当社株式を退職給付信託として設定した同行の信託財産であります。

### ●所有者別分布状況



### ●配当金の推移 (単位: 円)



## 株主優待品

2007年3月期末の株主優待品は、割当基準日である3月31日時点で当社株式を100株以上1,000株未満保有されている株主様へ1,000円相当の、また1,000株以上保有されている株主様へ3,000円相当の当社製品詰め合わせを送付させていただきます。なお、お届けは6月中旬を予定しております。

100株以上 1,000円相当当社製品詰め合わせ 年1回(割当基準日3月31日)  
1,000株以上 3,000円相当当社製品詰め合わせ 年2回(割当基準日3月31日・9月30日)



## 会社の概要

(平成19年3月31日現在)

- 設立 昭和23年8月31日
  - 資本金 7,065,500千円
  - 従業員数 従業員 ※臨時従業員  
連結 602名 119名  
単体 356名 68名
- ※平均人員、パートタイマー・嘱託を含む

## 事業所

(平成19年3月31日現在)

- 本社 〒161-8540  
東京都新宿区下落合1-4-10  
TEL. 03-5906-0731 (代表)
- 支店 札幌、仙台、関東(埼玉)、東京、名古屋、大阪、広島、福岡
- 営業所 横浜、金沢、高松
- 工場 福島、埼玉、九州(福岡)
- R&Dセンター 東京

## 役員一覧

(平成19年6月15日現在)

取締役		
取締役会会長 (指名委員)	鈴木 喬	
取締役(社外) (指名委員・監査委員・報酬委員)	梶原 保	
取締役(社外) (指名委員・報酬委員)	野呂 正則	
取締役(社外) (指名委員・監査委員)	高後 元彦	
取締役(社外) (監査委員)	小門 裕幸	
取締役(社外) (監査委員)	前原 輝幸	
取締役 (指名委員)	小林 寛三	
取締役 (報酬委員)	嶋田 洋秀	
執行役		
代表執行役社長	小林 寛三	
常務執行役 営業本部長	影浦 憲章	
常務執行役 コーポレートスタッフ部門担当 兼 国際ビジネス担当	嶋田 洋秀	
執行役 大阪支店長	城ノ戸 真一	
執行役 東京支店長	加藤 孝彦	
執行役 マーケティング部門担当	北原 雅美	
執行役 グループ戦略担当	鈴木 喬	